

文化庁長官

都 倉 俊 一



第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021が、去る7月31日から8月6日までの7日間、和歌山県内の各会場で盛大に開催され、新型コロナウイルスに屈することなくひたむきに文化芸術活動に取り組む高校生たちの姿

は、私たちに大きな感動と希望を与えてくれました。

第32回優秀校東京公演では、和歌山大会において、「演劇」「日本音楽」「郷土芸能」の各部門で優秀校に選ばれた学校が、国立劇場という栄えある舞台上、これまでの成果を改めて披露してくれます。

今年度は、インターネットを通じて、公演の様子を国内のみならず世界へ向けて発信いたします。

これまで数多くの高校生たちが、この国立劇場の舞台に立ち、文化芸術活動を通してそれぞれの可能性を切り拓いてきました。新型コロナウイルスとの過酷な闘いの中、エネルギーに満ちた高校生たちの渾身の演奏・演技は、私たちに安らぎと勇気を与えてくれることでしょう。この晴れ舞台での公演は、『拓く国立劇場の夏』のテーマのとおり、若い皆さんがこれから歩いていく道を拓くための大きな糧となり、さらに、我が国がこの試練を乗り越えていく原動力となると信じております。

結びに、本公演の開催に御尽力いただいた公益社団法人全国高等学校文化連盟、東京都教育委員会及び東京都高等学校文化連盟の皆様にご敬意を表しますとともに、公益財団法人三井住友海上文化財団をはじめ御支援いただいた多くの団体、そして運営に携わっておられる先生方と高校生の皆さんに深く感謝し、私のあいさつといたします。